

各 位

平成13年1月5日

東京都結核・感染症発生動向調査
企画委員会会長

東京都週報

51週 (12月18日～12月24日)

発生動向総覧(東京都)・調査票通信
全数届出患者数一覧表
定点報告疾患集計表(男女別)
年齢階級別累計表・保健所別累計表
感染症発生動向調査年次比較折れ線グラフ

事務局 東京都立衛生研究所疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
E-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp
アドレス : www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



古紙配合率70%再生紙を使用しています

発生動向総覧 (東京都)

51週分

(全数情報)

細菌性赤痢が2件届出された。推定感染地域はインド1件、バリ1件で、いずれも菌型はソンネである。

腸管出血性大腸菌感染症4件は、いずれもO157でVT2が2件(うち患者1件)、VT1+VT2の無症状病原体保有者2件だった。

アメーバ赤痢が6件届出された。推定感染地域は国内5件(推定感染経路:同性間性的接触1件、異性間性的接触1件、不明3件)、モンゴル1件(経口感染)だった。

急性ウイルス性肝炎1件はA型肝炎で、国内での経口感染が推定されている。

クロイツフェルト・ヤコブ病1件は孤発性、臨床決定である。感染経路は不明である。

クロイツフェルト・ヤコブ病は51週までに13件届出された。すべて孤発性、臨床決定である。感染経路はヒト乾燥硬膜2件、不明11件である。

(推定感染地域は、医師の届出によるものです。)

(定点情報)

感染性胃腸炎が急増している。水痘、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑の報告数も多く今後の推移に注意する必要がある。

(病原体情報)

- ・咽頭炎患者から検出されたA群溶血性レンサ球菌はT-12型であった。
- ・感染性胃腸炎、胃腸炎患者3名のうち小児1名の便からA群ロタウイルスが検出されている。
- ・集団胃腸炎15事例148件の検体が搬入され、12事例52件からSRSVが検出されている。
- ・多摩地区の感染性胃腸炎、下痢症患者の5検体のうち3検体からSRSVが検出されている。
- ・急性細気管支炎からRSウイルスが2件検出されている。
- ・2名の水痘患者の咽頭拭い液から水痘帯状疱疹ウイルスが検出されている。
- ・伝染性紅斑患者3名の血清および髄液からパルボウイルスB19遺伝子が検出された。
- ・脳炎患者の咽頭拭い液、髄液からEBウイルス遺伝子が検出されている。
- ・手足口病患者の咽頭拭い液からエンテロウイルスおよび単純疱疹ウイルスが検出されている。
- ・口内炎患者の咽頭拭い液からエンテロウイルスの遺伝子が検出されている。

(その他の情報)

- ・上・下気道炎、胃腸炎の検体搬入が多い。
- ・12月12日から17日までに搬入された上・下気道炎、気管支炎等19検体について、RSウイルス、アデノウイルス、インフルエンザウイルスのPCRを行った結果、RSウイルスが2件、アデノウイルスが6件検出されたが、インフルエンザウイルスは1件も検出されていない。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

千代田区

感染性胃腸炎は、下痢（白色便）及び嘔吐の症状がみられます。

新宿区

- ・感染性胃腸炎は、家族単位の発症がみられます。
- ・12月18日頃より、感染性胃腸炎の患者が急増、家族内の発症が多いが、幼稚園、学校でも流行している。症状は、発熱、下痢、嘔吐に続き、咳が出現し、気管支炎になることが多い。抗生剤投与で軽快するので、細菌性と思われるが、検査した範囲内では病原性の菌は検出されていない。

町田市

感染性胃腸炎の患者は、家族内感染が多く、3～4日で軽快している。

東大和市

感染性胃腸炎の患者の症状は、現在嘔吐に下痢を伴うものより、嘔吐のみの患者が多い。

清瀬市

悪心、嘔吐の患者さんが多く見られております。下痢も伴っています。

稲城市

感染性胃腸炎は、成人を含めて家族単位での発症が続いている。
一部の保育園で流行性耳下腺炎と水痘が発生し、増加傾向である。

多摩市

いくつかの保育園で感染性胃腸炎が散発している。

全数届出患者数一覧表 平成12年51週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		48週	49週	50週	51週	51週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	急性灰白髄炎					
	コレラ	1				1
	細菌性赤痢	2	2	1	2	7
	ジフテリア					
	腸チフス					
	パラチフス					
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	6	6	4	10
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢		2	4	6	3
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		2	1	1	3
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病					
	回帰熱					
	Q熱					2
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2		
	後天性免疫不全症候群	9	7	1	6	10
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症			1		1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病	7	1	1		21
	デング熱	1				
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	2	2	1	2	10
	破傷風					2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1		
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
マラリア	2					
ライム病						
レジオネラ症		2				
東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(12/27集計)						

定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	平成12年 週				累計
		48	49	50	51	
不明発疹症	男	8	2	1	6	17
	女	7	3	3	4	17
MCLS	男		2			2
	女	3				3
インフルエンザ	男	12	18	21	20	71
	女	11	11	22	19	63
咽頭結膜熱	男	5	4	5	5	19
	女	3	8	5	3	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	49	36	32	19	136
	女	34	42	20	23	119
感染性胃腸炎	男	437	628	778	901	2744
	女	403	615	750	943	2711
水痘	男	87	103	92	102	384
	女	83	86	107	92	368
手足口病	男	28	28	30	17	103
	女	31	20	27	16	94
伝染性紅斑	男	24	34	19	35	112
	女	21	19	32	30	102
突発性発疹	男	29	29	38	35	131
	女	33	40	34	34	141
百日咳	男		2	1		3
	女			2	2	4
風疹	男	2			2	4
	女	1				1
ヘルパンギーナ	男	5	4	5	4	18
	女	4	2		9	15
麻疹(成人以外)	男	3	2	4	2	11
	女	3	2	3	5	13
流行性耳下腺炎	男	78	97	84	80	339
	女	82	76	91	68	317
急性出血性結膜炎	男	1				1
	女					
流行性角結膜炎	男	18	12	14	2	46
	女	8	12	14	8	42
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男					
	女					
細菌性髄膜炎	男	1				1
	女					
無菌性髄膜炎	男	2	1	1		4
	女		1	1		2
マイコプラズマ肺炎	男				1	1
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男			1		1
	女		1		1	2

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表（平成12年51週）

	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
～6ヶ月	1					31	2	1		11				1			
～1歳	2					106	11	3		46					1		
1歳	1		1	1	1	229	21	5	4	12		1	1	2	7		
2歳	1		2	2	1	193	33	4	4					1	9		
3歳	1		3		2	188	34	4	5				1		23		
4歳	1		1	1	4	166	34	5	5		1		1		21		
5歳	1		2	1	7	145	22	3	7				4		31		
6歳	2				6	121	9	2	10		1		1	1	14		1
7歳			2		6	83	10	1	9			1			7		
8歳			1	1	4	59	1	2	9					1	7		
9歳			2			42	3		5						8		
10～14歳			6		7	127	5	1	6				2	1	12		1
15～19歳			5			50							1		1		1
20～29歳			8	2	4	304	9	2	1				2		7		1
30～39歳			3														4
40～49歳			1														
50～59歳			1														
60～69歳			1														1
70～79歳																	1
80歳以上																	
合計	10	0	39	8	42	1844	194	33	65	69	2	2	13	7	148	0	10
先週比	6	0	-4	-2	-10	316	-5	-24	14	-3	-1	2	8	0	-27	0	-18

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (平成12年 51週)

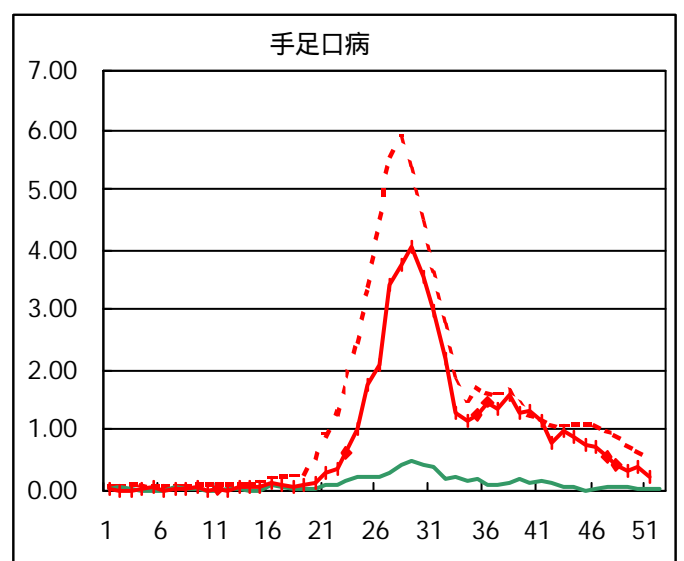
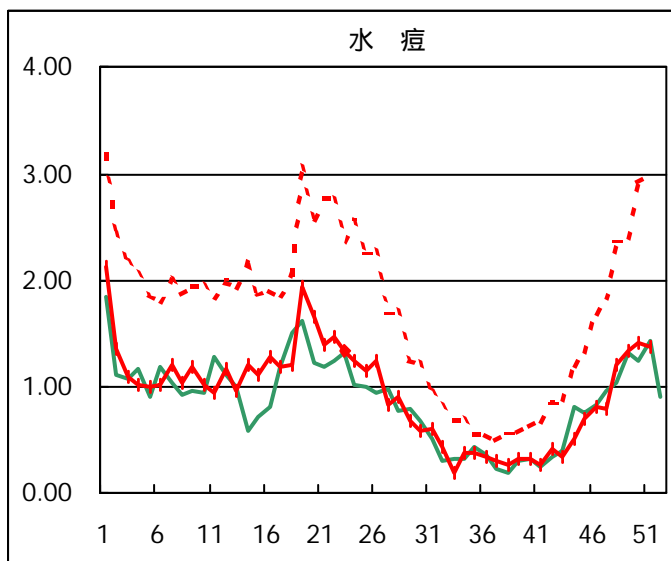
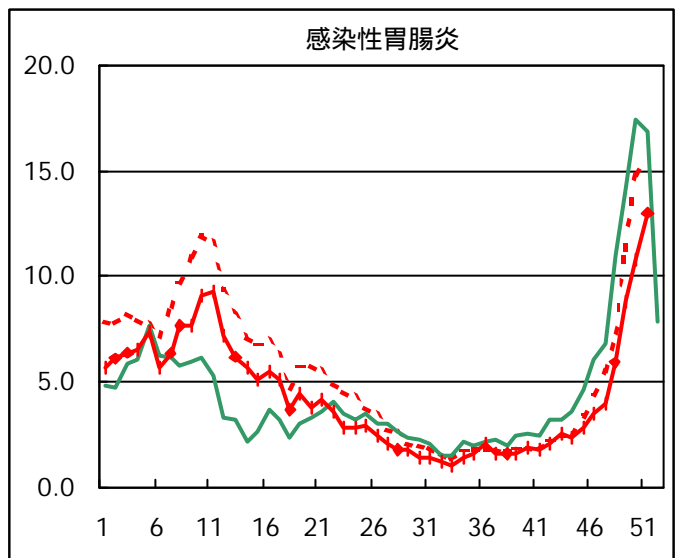
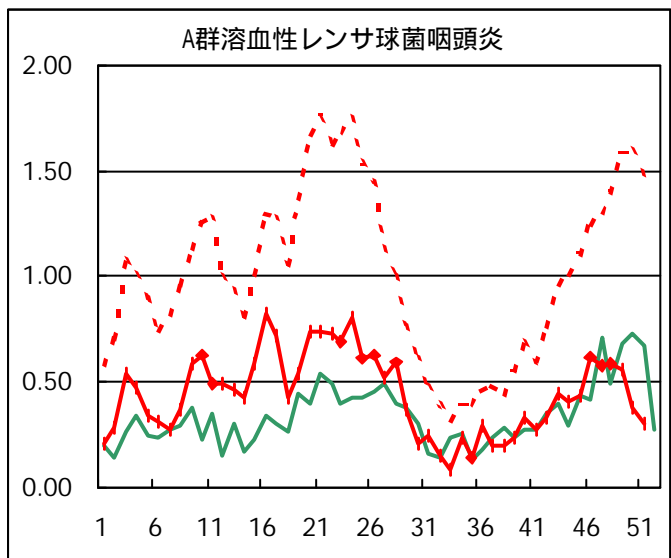
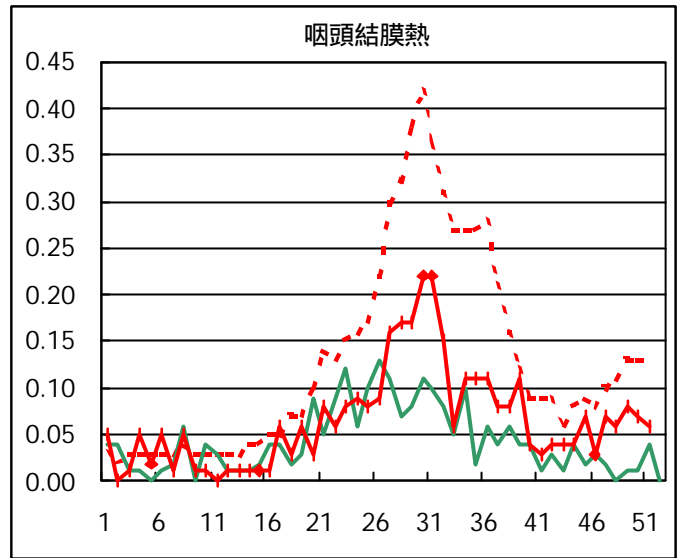
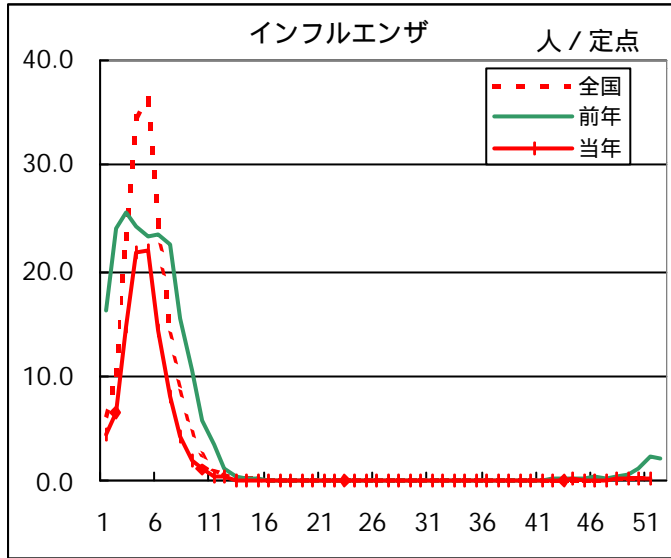
	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
中央	2						3			3				1	2			11
日本橋						36	1											37
文京						32	6		1	2							1	42
本郷																		0
向島						15				1					2			18
本所			1		2	26				2					3			34
江東区	2				2	28							1					33
深川					4	9	6								5		1	25
世田谷			5	1	1	132	16	1	3	8			3		8			178
渋谷区						40	1	1		1		1	1		5			50
池袋			1			2				1			2				3	9
長崎						15			1									16
荒川	1		2		1	20	3	4			1							32
足立	1		2		1	103	3		5	4					13			132
千住																		0
葛飾				1	8	21	10		9						3			52
江戸川	2					49	3		10	1		1		1	2			69
小岩						12	3			3					4			22
台東			2		2	83	16	1	2	2			1		8			117
目黒区			1			12												13
大田区				1	3	82	2	3	13	3				1	11		1	120
杉並			1		2	40	5			3					1			52
北区				1	1	60	14	2	1	5					5			89
板橋区						36	1		3					1	10			51
みなと						19	2	1	2								1	25
中野区			6			63	5	4		2				2	5			87
新宿区	1		2		2	280	9	1		2	1				6		1	305
品川区	1					97	6		3	5			1		5			118
千代田			1			18	2								1			22
練馬区			2		3	55	9	3	1	3					7			83

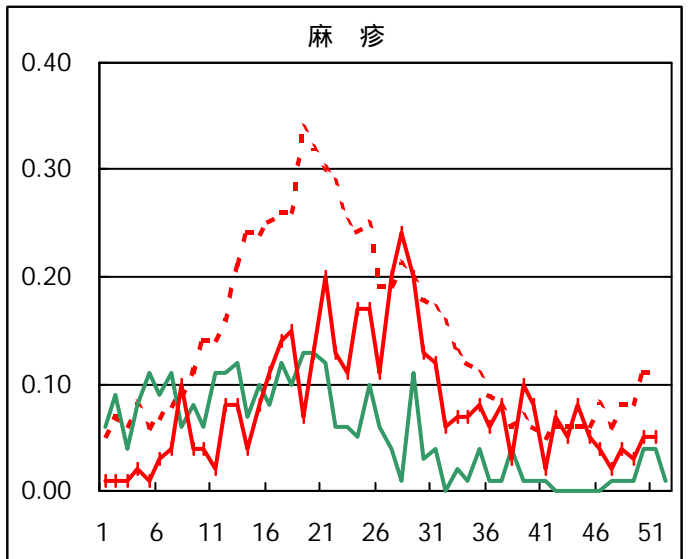
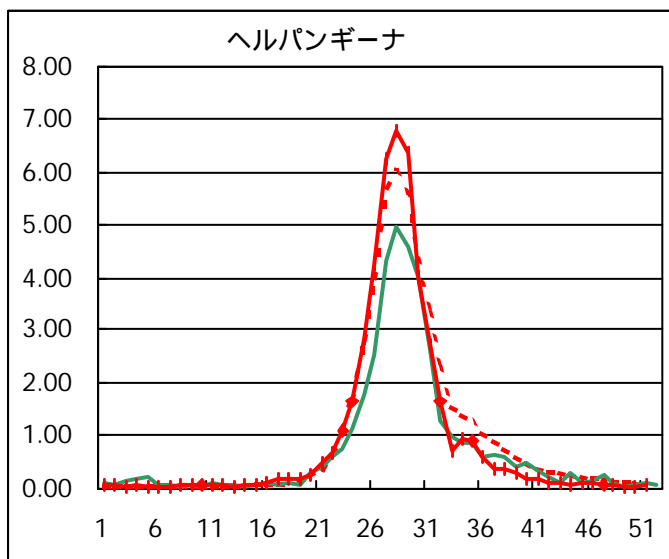
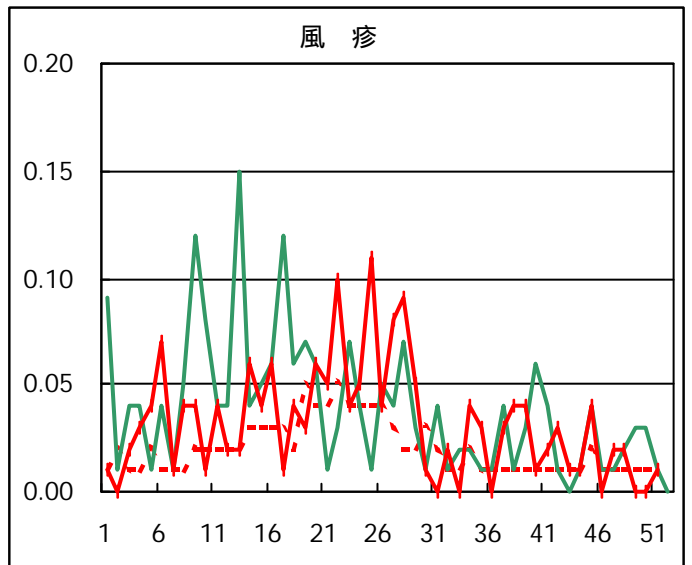
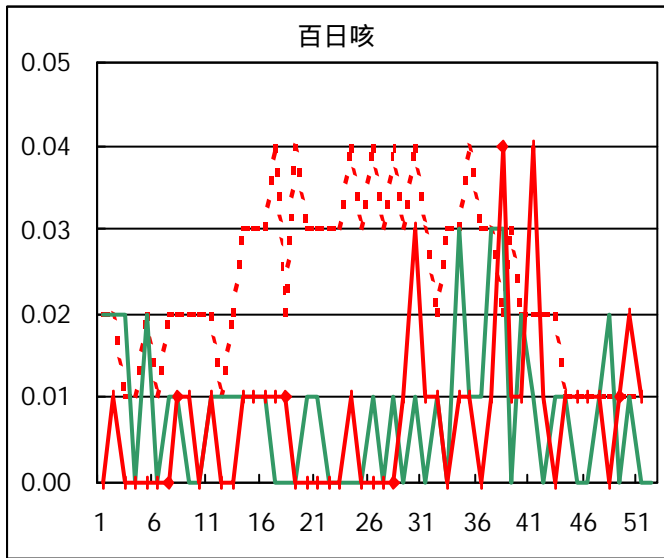
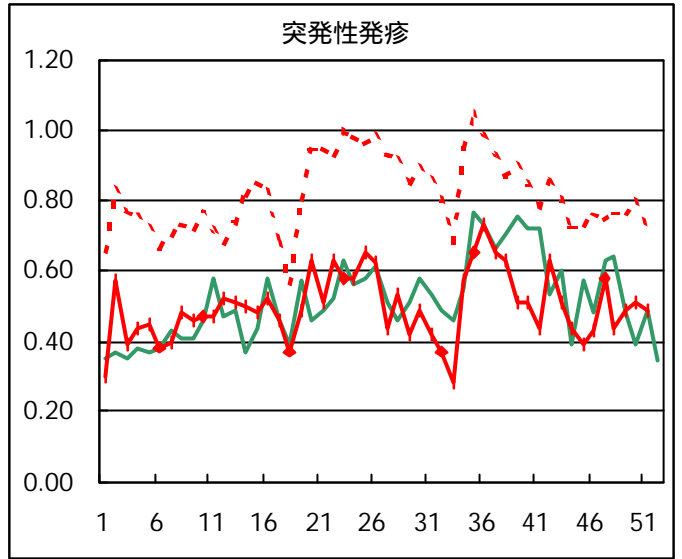
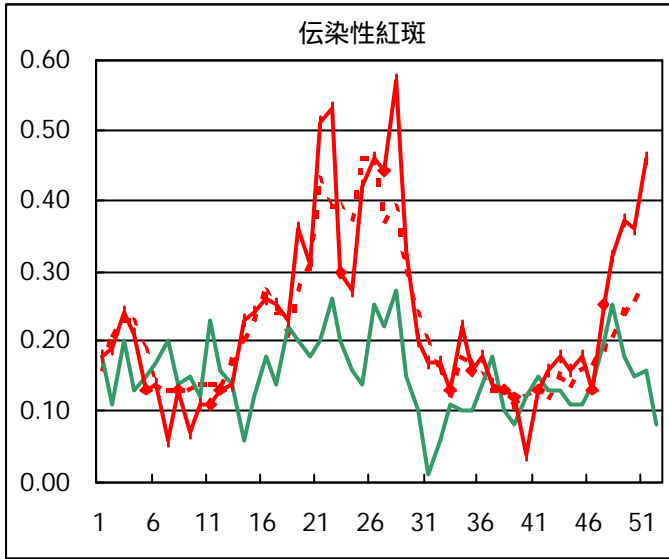
保健所別累計表 (平成12年 51週)

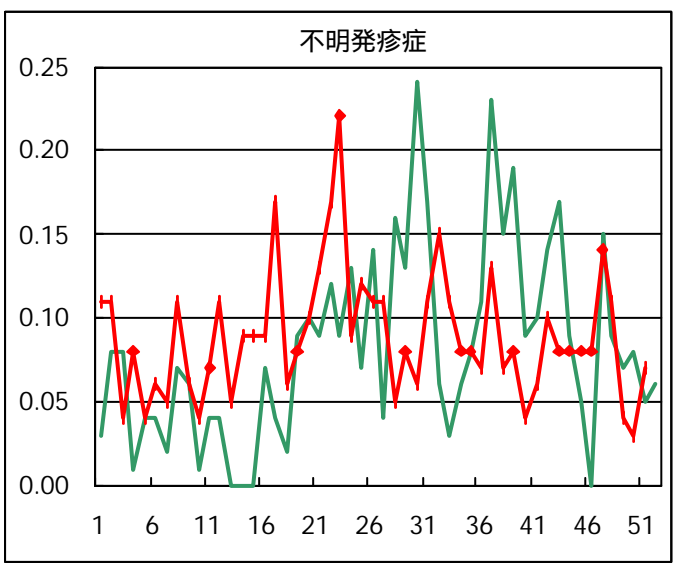
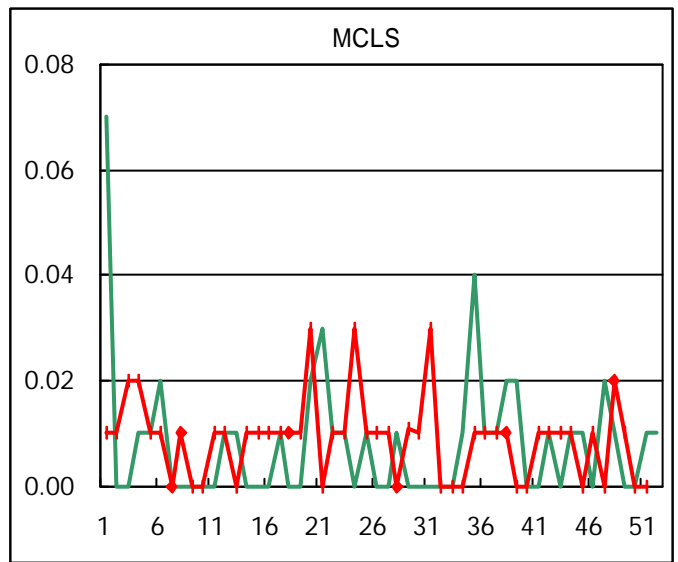
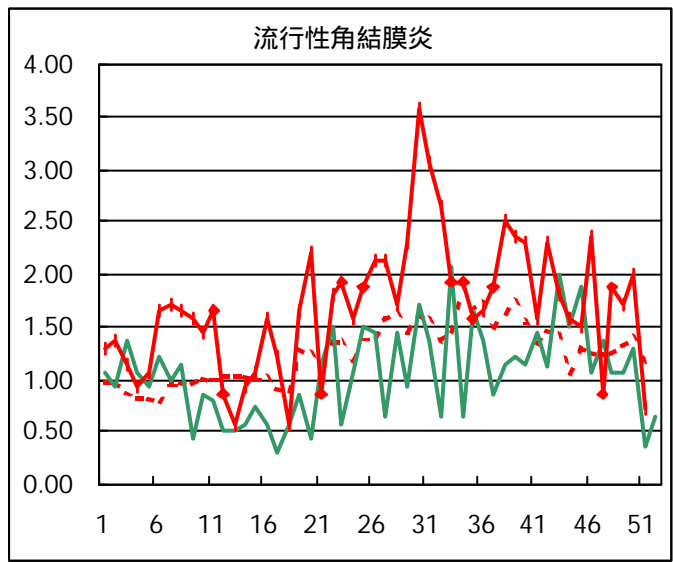
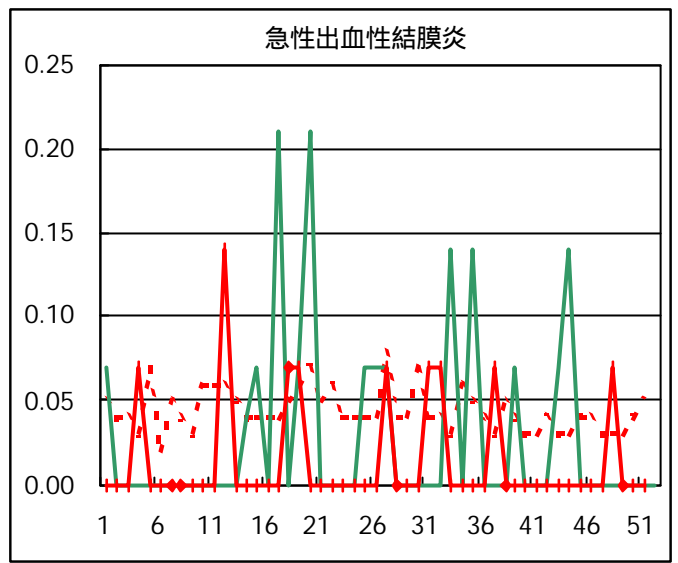
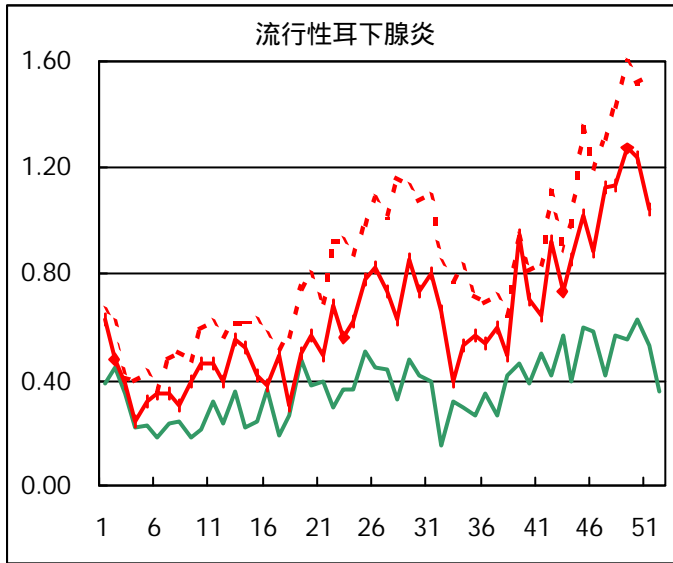
	不明 発疹症	MCLS	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	合計
八王子						29	8			3					4			44
町田						60	7			1			1		4			73
島しょ			3															3
多摩川			4			17	6	6		2					3			38
秋川					1	32	5		1	2				1	7			49
南多摩			1		1	86	16	2		1			2		12			121
多摩立川					3	32	2	1	1				1					40
村山大和						21		2							1		2	26
府中小金井			1			24	3	1		2					5			36
狛江調布			3	4	1	29			5	3								45
三鷹武蔵野					2	30	5								2			39
多摩小平					1	42	9		1	2					3			58
多摩東村山			1		1	57	7		3	2					1			72

東京都合計	10	0	39	8	42	1844	194	33	65	69	2	2	13	7	148	0	10	2486
定点当り報告数	0.07	0.00	0.22	0.06	0.30	12.99	1.37	0.23	0.46	0.49	0.01	0.01	0.09	0.05	1.04	0.00	0.71	17.51

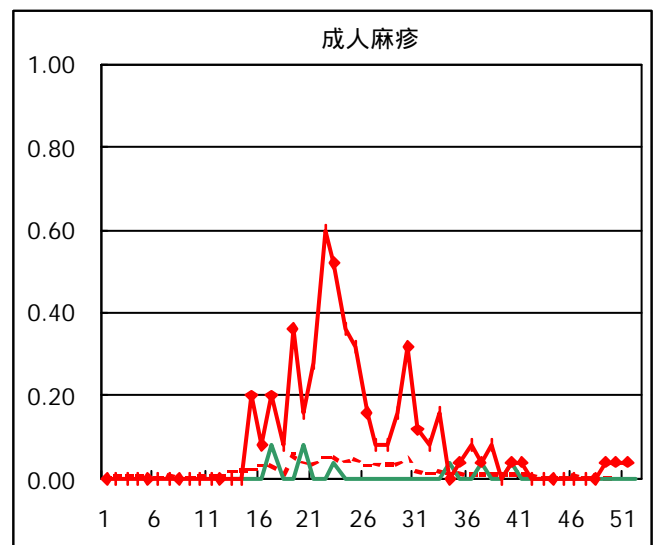
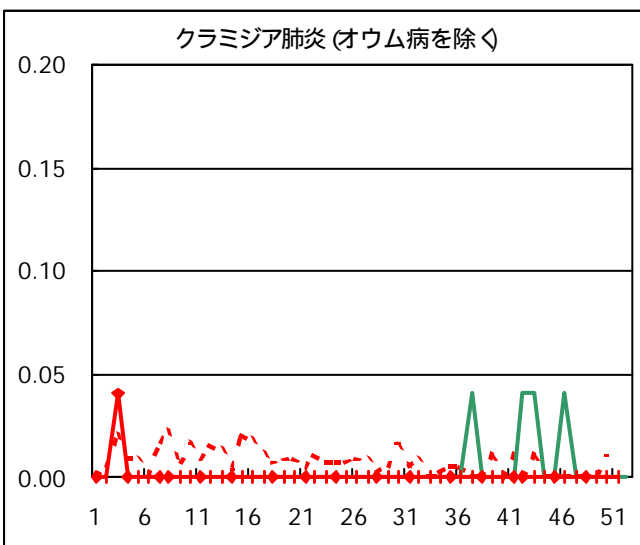
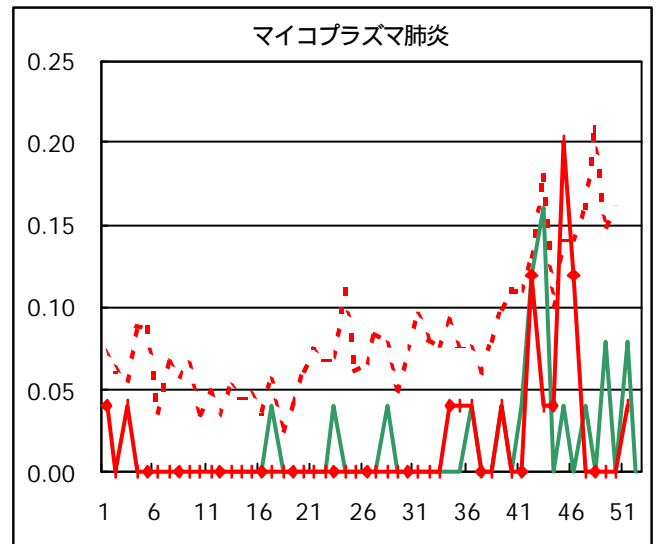
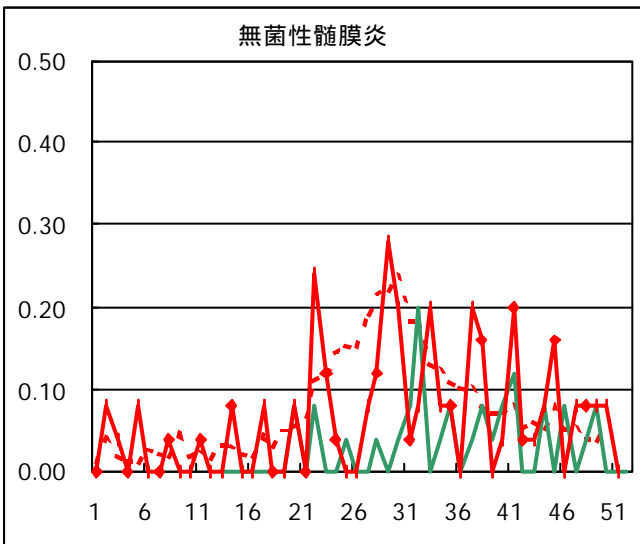
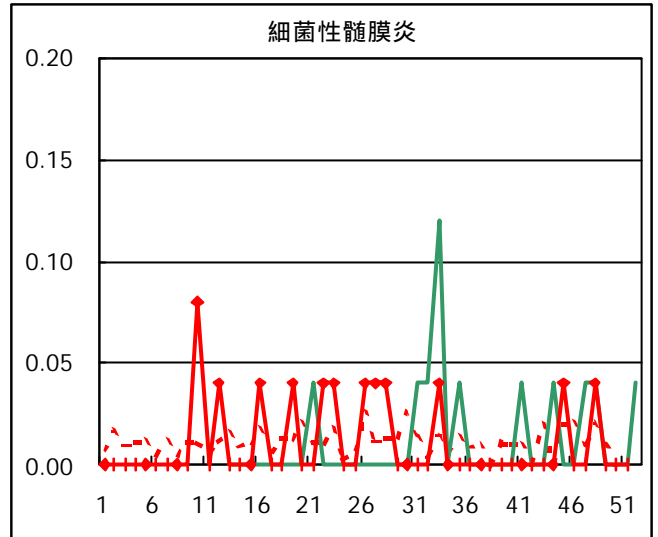
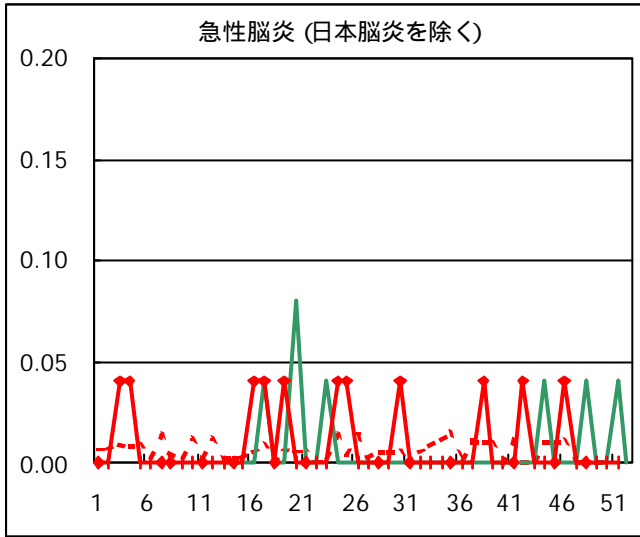
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	
上記を除く疾病	



【感染性胃腸炎】

このところ感染性胃腸炎の報告が増加しています。感染性胃腸炎について簡単にご紹介致します。

図1は感染性胃腸炎の最近5年間の全国と東京都の患者報告数です。全国でも東京でも昨年45週頃から報告数が非常に多かったのですが今年も、ここに来て再び報告数が急増しています。

週刊図報の1と2に今年と昨年の45週からの地域的拡がりを示しましたが報告数の分布は多中心的です。

図2に東京都立衛生研究所で感染性胃腸炎として病原体検索を行った結果を示しました。ウイルスでは12月から2月にかけてはSRSVが、3月から5月の時期はロタウイルスが多く検出されています。細菌では9月から11月にかけてはカンピロバクターとサルモネラが多く、その後細菌の検出数は減り、6月から8月になるとカンピロバクターと大腸菌、腸炎ビブリオなどが検出されています。 □

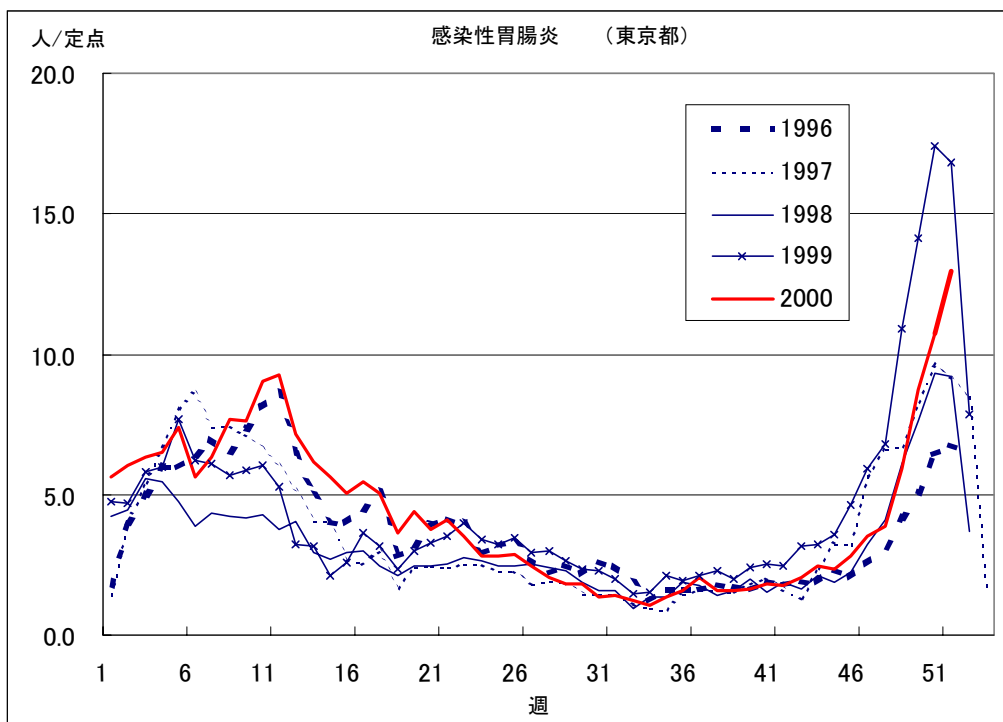
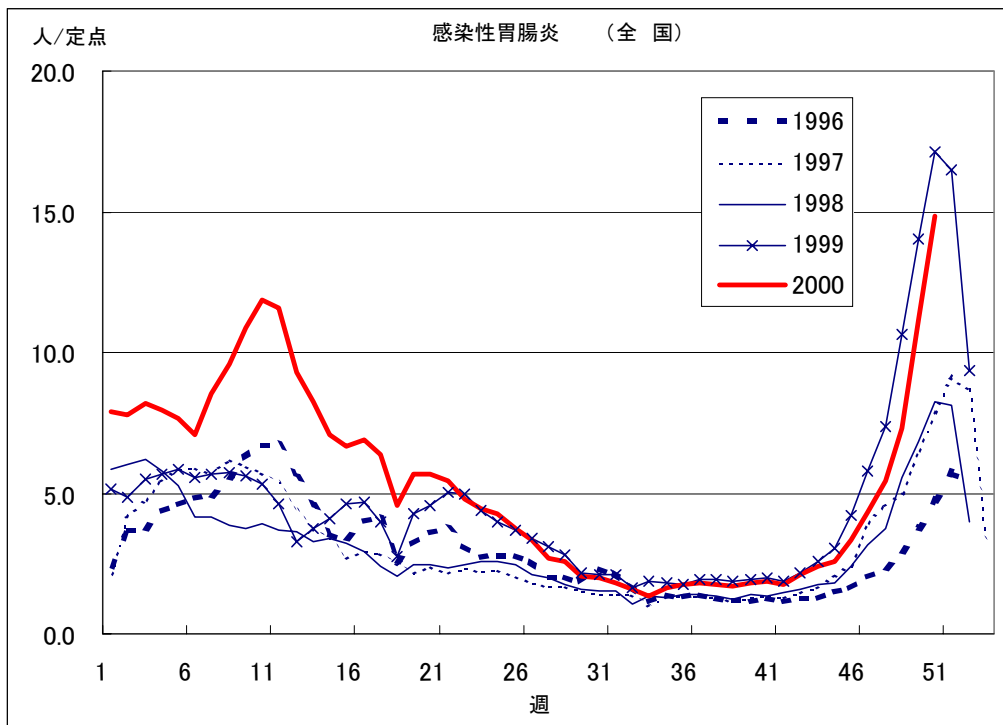
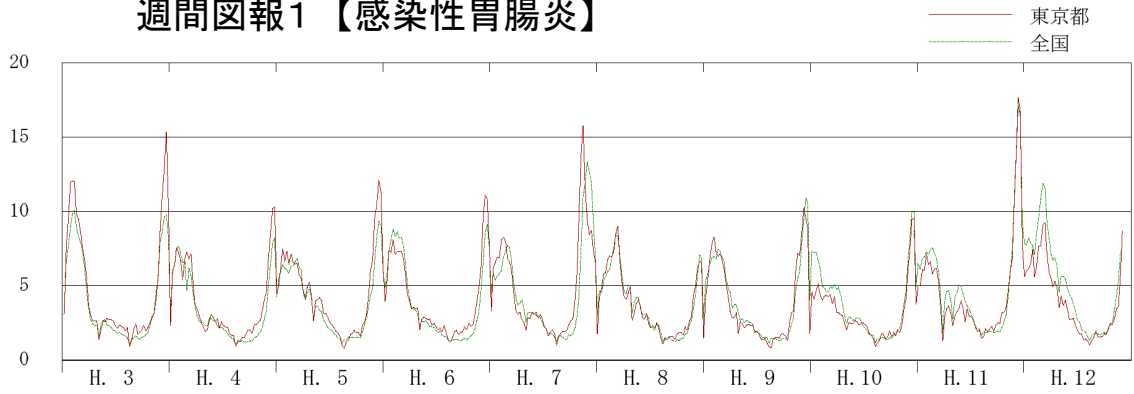


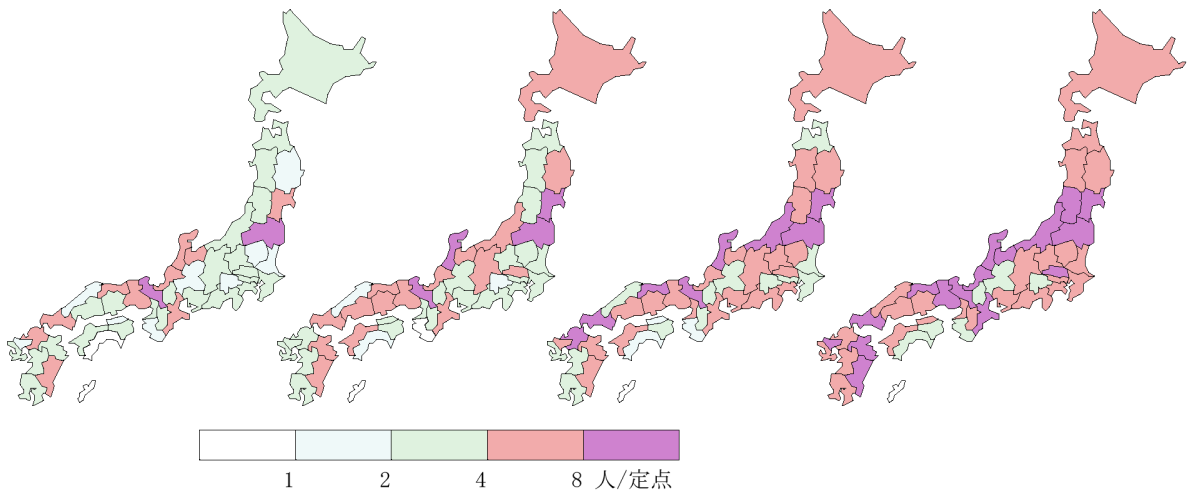
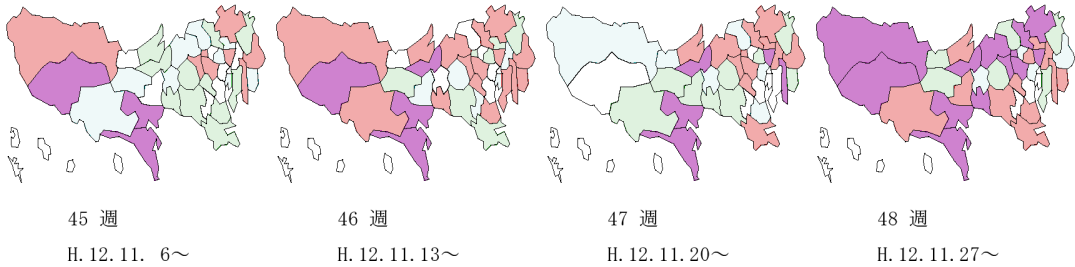
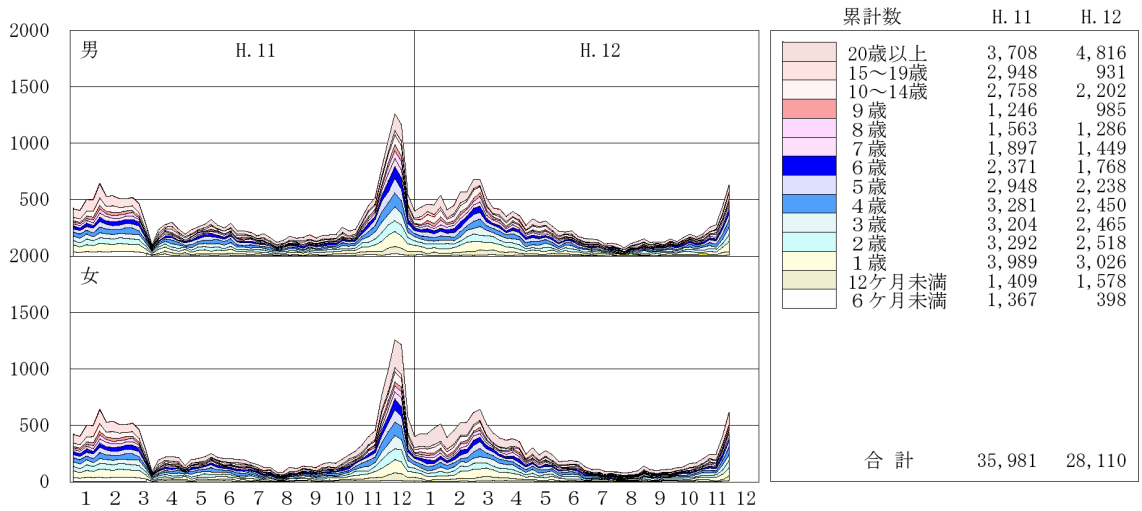
図1 感染性胃腸炎の年次推移(1996～2000)

週間図報1 【感染性胃腸炎】

定点当たり患者数

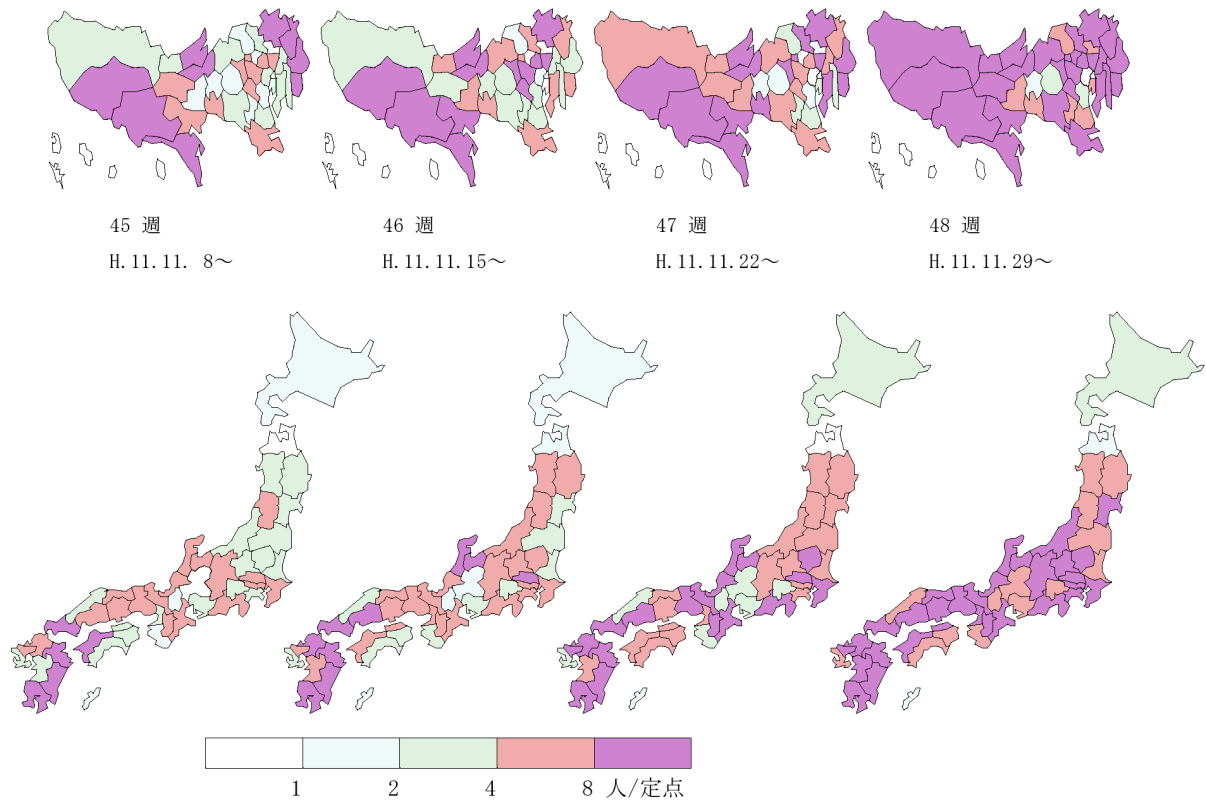


患者報告数

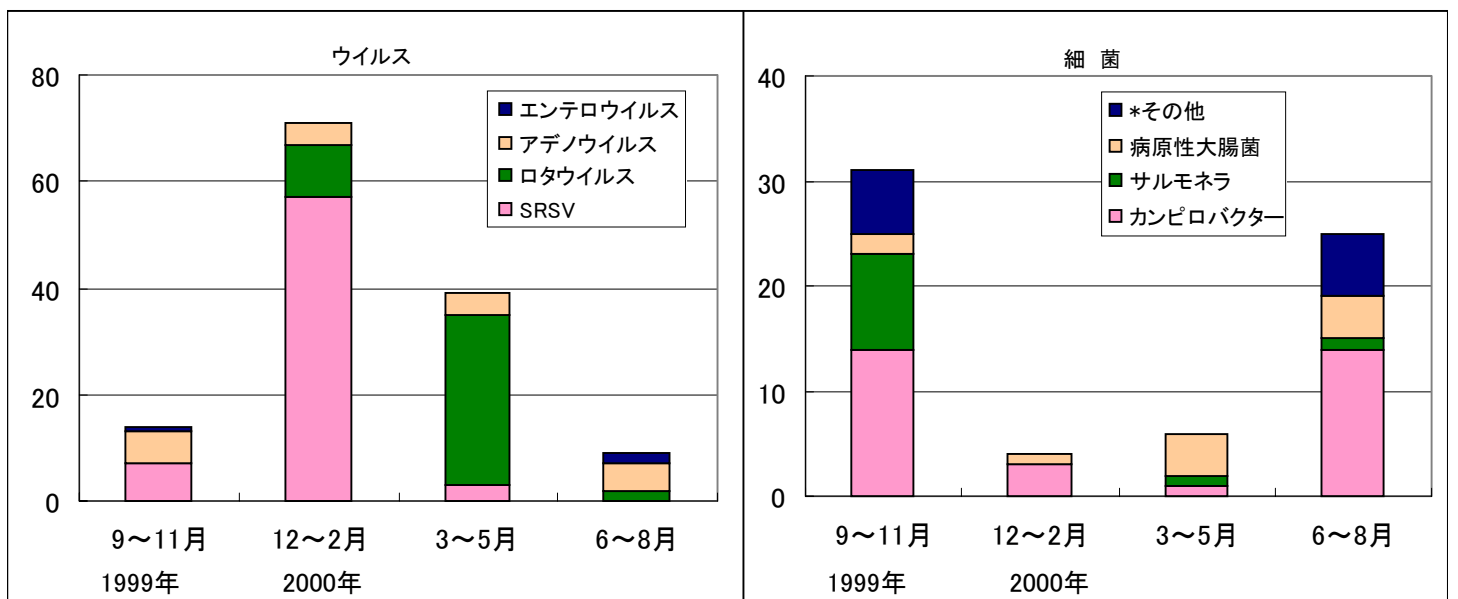


2000年 東京都 2次医療圏別および全国

週間図報2 【感染性胃腸炎】



1999年 東京都 2次医療圏別および全国



*その他: エロモナス、腸炎ビブリオ

図2 感染性胃腸炎の検体からの検出病原体(東京都)